

清水寺における取組と課題

清水寺 執事補
大西 皓久

目次

- 清水寺について
歴史
地理的要因
- 現在までの取り組み
- 課題

清水寺の歴史

- 創建は778年
- 約10度の火災を乗り越えて現在に至る
- 最後の大きな火事は1629年
- 現在の建物はそのほとんどが1633年までの四年間に再建されたもの
- 枕草子にも騒がしい所として観音さんの縁日の清水寺が紹介
- 現在の参拝者数は年間500万人位
- うち車いす利用者は2000人位

清水寺の地理的要因

- 標高**240**メートルほどの音羽山の中腹
- 交通機関でアクセスできる場所の限界
- 寺としての環境の維持
- 山の中にあるが故の境内での高低差
- 縛られる法律が多くある
文化財保護法・古都保存法・京都府風致地区条例など

現在までの取り組み

- ▶ 段差の解消、看板の設置
- ▶ 砂利の撤去、舗装化
- ▶ 石畳を一部改修
- ▶ 階段の撤去(平成20年)
これにより階段を通らず境内を一周する事が可能となった
- ▶ トイレの改装
- ▶ 車いすでの参拝の方への地図の配布

清水寺の玄関



目の前には階段ばかり
少し左に目をむけると



段差の解消





砂利の撤去、舗装化



石畳の改修



大きな課題であった滝周辺の階段

改修前



改修後



改修前



改修後



改修前



改修後



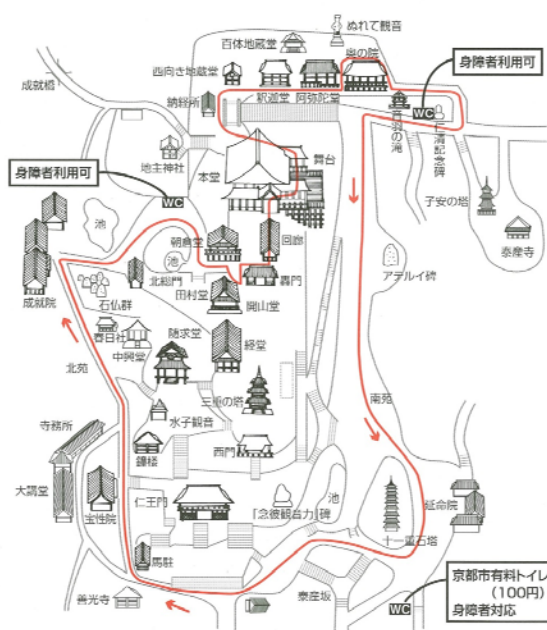
改修後



トイレの改修



清水寺塔伽藍略配置図



赤い線の順路にそって進んで頂ければ、境内を一周していただけます。
 順路の途中から引き返して頂く事も可能です。
 途中、砂利道、坂道もございますので十分気をつけてお参りください。

ご参拝ありがとうございます。 合掌

自家用車での参拝





課題

- 視聴覚障害をお持ちの方
- 一人でお参りに来られる車いすの方
- 外国の方への対応
- 景観と対策の両立

余談

